

七條小学校 クスノキ

京都市学校名木百選

西七条石井町
(御前通木津屋橋下ル)

●高さ 17.0m

●枝張 16.0m

●幹周 3.05m

◆くすのき科／常緑高木



校舎北側のグラウンドの真ん中に、幹の直径が1mにも及ぶ樹形の整ったクスノキが仲良く4本並び立ち、大きな緑陰をつくりだしています。明治31年(898年)に七條村立尋常小学校の開校を祝って植樹され、大切に育てられてきました。学区の皆さんの誇りになっています。

クスノキ

くすのき科

日本産で、暖地性の常緑樹。常緑樹のなかでは長寿で、もっとも大きくなります。社寺境内などに植えられ、大きく育った木を、まちのあちこちでよく見かけます。

よい香りのするクスノキは、病害虫が少なく、暑さにも強く、枝葉が大きいので、緑陰樹に適しています。大きな木でも移植ができるので、最近では、ビルの周囲などにもたくさん使われています。

街路樹としては、中央分離帯や街路広場など、広い空間で使われています。

西大路小学校 シダレザクラ

(八重紅枝垂)



七条御所ノ内町(西塩小路通西高瀬川)

●高さ 6.0m ●枝張 8.5m ●幹周 0.76m

◆ばら科／落葉高木

昭和42年(1967年)、学校創立の記念に植えられたといわれています。

西大路通 クスノキ

(若一神社前)



七条御所ノ内本町
(西大路通八条上ル)

●高さ 9.5m ●枝張 13.9m

●幹周 3.61m

◆くすのき科／常緑高木

熊野信仰の対象として、平安時代末期から大切に受け継がれているとされています。

西大路通の植樹帯の一部になっています。西大路通をつくる際に、この木を避けて、道路を大きくカーブさせたそうです。東西南北の格子状に道路が整備された京都中心部では、珍しい一角。西大路通にあふれだす緑は、地域のランドマークになっています。